

小学校同僚性スクリーニングテスト（暫定版）作成の試み

西永 円

藤原忠雄

1 研究目的

教師のメンタルヘルスの悪化が深刻な問題となっている。このような状況において、良好な同僚関係が教師のメンタルヘルスに貢献している¹⁻²⁾という指摘がある。このことから、学校における好ましい同僚関係を明らかにすることは意義のあることだと考える。

更に、小学校教師の33.5%が過労死ライン(1週間当たりの学内総勤務時間が60時間を超える)に相当している³⁾状況を鑑みると、学校に必要な同僚性を短時間で能率的に測定できるスクリーニングテストを作成することは有益だと考える。

そこで本研究では、小学校同僚性スクリーニングテスト（暫定版）を作成することを目的とする。

2 小学校同僚性尺度⁴⁾

1) 調査対象及び時期

調査の要請に同意した14都道府県1,216名の小学校教諭、常勤教諭、養護教諭を対象者とし932名より回答を得た。記入漏れなどがあった83名分を除外した899名分を分析対象者とした。時期は、2018年2月初旬から3月中旬であった。

2) 調査項目

小学校教師同僚性尺度の原尺度⁵⁾ (61項目)

協働的職場風土尺度⁶⁾ (4項目)

3) 手続き及び倫理的配慮

(1) 手続き

全ての協力校の管理職に実施の承諾を得て行った。

配布及び回収は、学校宛に返信用レターパック、個人用封筒(協力依頼文、倫理上の配慮を明記した文書、自記式質問紙)を同封し、協力者各自が封緘したものを一括して返送する郵送法で実施した。

(2) 倫理的配慮

倫理的配慮文書の中で、匿名性が保証されること、回答は自由意志であり、回答することあるいは拒否することで不利益が生じないこと、研究以外の目的で使用しないことを記載した。

4) 分析方法

信頼性の検討では、内的整合としてクロンバックの α 係数を算出した。妥当性の検討では、因子構造は確認的因子分析(適合指標としてGFI, CFI, RMSEAを用いた)を行い、併存的妥当性はピアソンの積率相関係数を算出した。

5) 結果

原尺度61項目に対し因子分析(最尤法・プロマックス回転)を行った。項目選定の基準として解釈の可能性、因子負荷量が.4未満の項目及び複数の因子に競合が見られた項目を繰り返し削除した。その結果、8因子(「共感性」「節度性」「真摯性」「連携性」「建設性」「進歩性」「互助性」「快適性」)が抽出された。なお、累積寄与率は78.30%、 α 係数は.74-.92であり内的整合性が確認された。

確認的因子分析の結果、モデルの適合指標はGFI=.93, CFI=.97, RMSEA=.05と十分な値を示し、因子構造が適切であることが確認された。また、8因子25項目の合計得点と協働的職場風土尺度の合計得点との相関係数は.82であり、併存的妥当性が確認された。

3 小学校同僚性スクリーニングテスト（暫定版）

1) 調査対象及び時期

調査の要請に同意した17都道府県2,179名の小学校教諭、常勤講師、養護教諭を対象者とし1,522名より回答を得た。記入漏れなどがあった57名分を除外した1,466名を分析対象者とした。調査は2019年6月及び11月であった(対応なし)。

安定性の検討では、2県181名を対象者とし、139名より回答を得た。記入漏れなどがあった28名分を除外し、対応のある111名を分析対象者とした。調査は2019年10月及び11月であった。

2) 調査項目

(1) 小学校同僚性尺度⁴⁾の各下位尺度から因子負荷量が最も高い項目及びそれと内容的に被らない項目を下位尺度ごとに2項目ずつ抽出した。

(2) 学校における同僚関係尺度⁷⁾の各下位尺度から因子負荷量が最も高い項目及びそれと内容的に被らない項目を下位尺度ごとに2項目ずつ抽出した。これを用いて小学校同僚性スクリーニングテスト(暫定版)(以下、暫定版)との併存的妥当性を検討することとした。

3) 手続き及び倫理的配慮

小学校同僚性尺度の作成時と同様の手続き及び倫理的配慮を行った。

4) 分析方法

各下位尺度の基本統計量を算出し、天井効果・フロア効果を確認した。信頼性の検討では、内的整合性はクロンバックの α 係数、安定性は再検査法による相関係数を算出した。妥当性の検討では、因子構造については確認的因子分析、併存的妥当性は「学校における同僚関係尺度」との相関を検討した。統計ソフトにはSPSS 25.0, Amos 25.0を用い、有意水準を5%とした。

5) 結果

(1) 信頼性の検討

各下位尺度間の α 係数は.81-.91であり、内的整合性が確認できた(Table 1)。再検査法による相関係数は.88-.96($p < .01$)であり、強い相関を示していた。これらの結果から、暫定版における信頼性は担保できたと判断した。

	M	SD	α	得点範囲
共感性	8.23	(1.62)	.87	2 - 10
節度性	7.53	(1.63)	.91	2 - 10
真摯性	8.47	(1.49)	.86	2 - 10
連携性	7.90	(1.69)	.83	2 - 10
建設性	7.15	(1.66)	.81	2 - 10
進歩性	7.39	(1.74)	.84	2 - 10
互助性	8.07	(1.58)	.89	2 - 10
快適性	8.08	(1.62)	.90	2 - 10

(2) 妥当性の検討

因子構造を検討するために行った確認的因子分析の結果、適合指標はGFI=.972, CFI=.987, RMSEA=.048と適切性が担保された。暫定版の合計得点と学校における同僚関係尺度の合計得点との相関係数を算出した結果、両尺度における合計得点の相関係数は $r = .93$ ($p < .01$)であり強い相関を示していた。下位尺度間の検討では「仕事とプライベートとの区別」については、唯一「節度性」と有意な相関が認められたが、相関係数は $r = .14$ であり無相関であった。残りの5因子については有意な相関が認められ、妥当性は担保されたと判断した(Table 2)。

	同僚教師との 支え合い	日常のコミュ ニケーション	協働による 授業改善	個々の意識	自立への意識	仕事とプライ ベートとの 区別	同僚関係の 合計
共感性	.60**	.45**	.61**	.68**	.61**	-.11	
節度性	.39**	1.00**	.51**	.43**	.41**	.14**	
真摯性	.62**	.51**	1.00**	.68**	.53**	.01	
連携性	.68**	.43**	.68**	1.00**	.65**	-.08	
建設性	.55**	.41**	.53**	.65**	1.00**	-.03	
進歩性	.66**	.43**	.59**	.68**	.66**	-.04	
互助性	.69**	.44**	.66**	.77**	.62**	-.09	
快適性	.67**	.39**	.59**	.71**	.62**	-.13	
同僚性の合計							.93**

** $p < .01$

4 まとめ

教師は、日々の業務に忙殺されている。従って、短時間で能率的に同僚性の状況を把握できるスクリーニングテストを作成したことは有意義だと考える。

今後は、教師のメンタルヘルス向上のための各学校や属性に応じた同僚性醸成プログラムの開発が求められる。

5 文献

- 長谷川 恵・山口 豊一 (2015). 小学校教師版共同体感覚尺度の作成 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科紀要, 3, 51-60.
- 新藤 慶・矢島 正・高橋 望・青木 美恵・柵木 みどり (2014) 教員の職務負担と解決方法——群馬県での公立学校教員調査を通して—— 群馬大学教育実践研究, 31, 137-152.
- 文部科学省 (2017). 勤務実態調査(平成28年度)の集計(速報値)について概要 Retrieved from https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/04/_icsFiles/afieldfile/2017/04/28/1385174_001.pdf (2017年6月28日)
- 西永 円・藤原 忠雄 (2019). 小学校における同僚性の階層的因子構造と概念規定の検討 学校メンタルヘルス, 22, 2, pp.211-219.
- 森原 かおり (2014). 小学校教師のメンタルヘルスを維持するための同僚性に関する研究 兵庫教育大学大学院修士論文(未公刊)
- 淵上 克義・小早川 祐子・下津 雅美・柵上 奈緒・西山 久子 (2004). 学校組織における意思決定の構造と機能に関する実証的研究(1)——職場風土, コミュニケーション, 管理職の影響—— 岡山大学教育学部研究集録, 126, 43-51.
- 井上 毅 (2014). 小学校における「同僚性を基盤に置いた現場での教師の育ち(職務成長)」の現状と展望 京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報, 3, 66-67.

資料 【小学校同僚性スクリーニングテスト （暫定版）】

小学校同僚性スクリーニングテスト〔採点表〕

記入年月日 西暦_____年_____月_____日

回答者の方へ

- このスクリーニングテストは、あなたの職場の雰囲気を短時間で能率的にチェックすることができるように作成されています。
- あなたが把握したい期間について、下記の枠の口にし点をつけてください。

【 把握したい期間 】

- ここ（ ）か月程度の職場の雰囲気を把握したい。
- 今年度の職場の雰囲気を把握したい。
- その他

【 手順 】

1. 左下のA～Pの質問にあなたが最も当てはまると思う数字に○をつけてください。
2. ○を付けた数字を右側の白抜きマスに転写してください。
3. 各縦列の数字を加え、その合計点を該当する列の一番下の欄に記入してください。
4. 各尺度の得点を次ページの「小学校同僚性プロフィール」にプロットしてください。

	あなたの職場の雰囲気に 最も当てはまると思う数字に○をつけてください。	あ ま つ た く ま ら な い	あ て は ま ら か か い え ば	い え な い と も	あ ど ち ら か と い え ば	あ て は ま ら か か い え ば	あ と て も よ く
A	話を聞いてもらえる職場である。	1	2	3	4	5	
B	協力して働こうとする意識をもつ職場である。	1	2	3	4	5	
C	同僚とフランクになりすぎない職場である。	1	2	3	4	5	
D	喜びを共有できる職場である。	1	2	3	4	5	
E	職場の同僚は、誠実な態度で仕事に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	
F	全体の場で発言できる職場である。	1	2	3	4	5	
G	情報を共有する職場である。	1	2	3	4	5	
H	困った時に助け合う職場である。	1	2	3	4	5	
I	違う意見も出し合う職場である。	1	2	3	4	5	
J	日頃の会話を大切にしている職場である。	1	2	3	4	5	
K	職場の同僚は、自分の行動に責任をもっている。	1	2	3	4	5	
L	みんなで高め合える職場である。	1	2	3	4	5	
M	同僚とともに問題を解決する職場である。	1	2	3	4	5	
N	同僚と馴れ合いになりすぎない職場である。	1	2	3	4	5	
O	笑い合える職場である。	1	2	3	4	5	
P	若い世代が夢をもてる職場である。	1	2	3	4	5	

共 感 性	節 度 性	真 摯 性	連 携 性	建 設 性	進 歩 性	互 助 性	快 適 性					

記入年月日 西暦____年__月__日

5段階 10段階

5	10	-10	-10	-10	-10	-10	-10	-10	-10
	9								
4	8	-9	-9	-9	-9	-9	-9	-9	-9
	7								
3	6	-8	-8	-8	-8	-8	-8	-8	-8
	5								
2	4	-7	-7	-7	-7	-7	-7	-7	-7
	3								
1	2	-6	-6	-6	-6	-6	-6	-6	-6
	1								
		~3	~2	~4	~2	~2	~2	~3	~3
		共 感 性	節 度 性	真 摯 性	連 携 性	建 設 性	進 歩 性	互 助 性	快 適 性

「共感性」は、共感的に話し合える関係を示すものです。10段階の3以下（下位尺度得点6点以下）の場合は、同僚との日常の会話やかかわりを大切にし、どんなことでも話し合える関係を築くことを心掛けていきましょう。

「節度性」は、馴れ合いではなく、適切な距離感が保たれている関係を示すものです。10段階の3以下（下位尺度得点5点以下）の場合は、互いに自立した関係を目指すことを意識してみましょう。

「真摯性」は、専門家として責任をもち、誠実に取り組む関係を示すものです。10段階の3以下（下位尺度得点7点以下）の場合は、職場での立ち居振る舞いを今一度チェックしてみましょう。

「連携性」は、情報を共有し共通理解の下、協力し合う関係を示すものです。10段階の3以下（下位尺度得点6点以下）の場合は、互いに連絡を取り、協力して物事を行うことを意識してみましょう。

「建設性」は、異なった意見でも全体場で共有し合える関係を示すものです。10段階の3以下（下位尺度得点5点以下）の場合は、一人ひとりが安心して思いや考えを伝え合える雰囲気を心掛けてみましょう。

「進歩性」は、理想を追求し、互いに高め合える関係を示すものです。10段階の3以下（下位尺度得点5点以下）の場合は、子どもを中心にした話合いや取組を意識してみましょう。

「互助性」は、困っている時に互いに助け合うことのできる関係を示すものです。10段階の3以下（下位尺度得点6点以下）の場合は、一人で抱え込まずに困難さを相談できるように日頃から声を掛け合ってみましょう。

「快適性」は、笑いや喜びを共有し合える心地よい関係を示すものです。10段階の3以下（下位尺度得点6点以下）の場合は、日常会話や雑談の中に気もちの明るくなる話題を意識してみましょう。